



Dell Command | Monitor


バージョン 10.3 インストール ガイド



メモ、注意、警告

 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

章 1: Dell Command Monitor 10.3 の概要	5
対応 Windows オペレーティングシステム.....	5
Dell Command Monitor のダウンロード.....	5
章 2: Dell Command Monitor 10.3 のシステム要件	6
章 3: Dell Command Monitor 10.3 の前提条件	7
Windows を実行するシステムの前提条件.....	7
Linux を実行するシステムの前提条件.....	7
Dell Edge Gateway システムの前提条件.....	8
章 4: Windows を実行しているシステムへの Dell Command Monitor 10.3 のインストール	9
Dell Update Package を使用した Dell Command Monitor のインストール.....	9
MSI ファイルを使用した Dell Command Monitor のインストール.....	10
Dell Command Monitor での SNMP の有効化.....	11
CLI またはサイレントモードでの Dell Command Monitor のインストール.....	11
章 5: Linux を実行しているシステムへの Dell Command Monitor 10.3 のインストール	14
Deb パッケージを使用した Dell Command Monitor のインストール.....	14
RPM パッケージを使用した Dell Command Monitor のインストール.....	15
Snap パッケージを使用した、Ubuntu Core 16 を実行するシステムへの Dell Command Monitor のインストール.....	16
章 6: Windows を実行しているシステムの Dell Command Monitor 10.3 のアップグレード	17
DUP を使用した Dell Command Monitor のアップグレード.....	17
MSI ファイルを使用した Dell Command Monitor のアップグレード.....	17
CLI またはサイレントモードでの Dell Command Monitor のアップグレード.....	18
章 7: Linux を実行しているシステムの Dell Command Monitor 10.3 のアップグレード	19
Deb パッケージを使用した Dell Command Monitor のアップグレード.....	19
Redhat Linux を実行している Dell Command Monitor の RPM パッケージを使用したアップグレード.....	19
Snap パッケージを使用した Dell Command Monitor のアップグレード.....	20
章 8: Windows を実行しているシステムからの Dell Command Monitor 10.3 のアンインストール	21
コントロールパネルを使用した Dell Command Monitor のアンインストール.....	21
MSI ファイルを使用した Dell Command Monitor のアンインストール.....	21
CLI またはサイレントモードでの Dell Command Monitor のアンインストール.....	21
章 9: Linux を実行しているシステムからの Dell Command Monitor 10.3 のアンインストール	23
Deb パッケージを使用した Dell Command Monitor のアンインストール.....	23
RPM パッケージを使用した Dell Command Monitor のアンインストール.....	24
Ubuntu Core 15.04 を実行する Dell Edge Gateway 5000/3000 シリーズシステムからの Snap パッケージを使用した Dell Command Monitor バージョン 9.1/9.1.2 のアンインストール.....	24

Ubuntu Core 16 を実行する Dell Edge Gateway 3000 シリーズシステムからの Snap パッケージを使用した Dell Command Monitor のアンインストール	24
--	----

Dell Command | Monitor 10.3 の概要

このガイドでは、Dell エンタープライズ クライアント システム、Dell IoT Gateway システム、Dell Embedded PC に Dell Command | Monitor をインストールする方法について説明しています。対応システムについては、dell.com/dellclientcommandssuitemanuals のリリース ノートを参照してください。

メモ: Dell Command | Monitor は、これまで Dell OpenManage Client Instrumentation (OMCI) と呼ばれていましたが、OMCI バージョン 8.2.1 以降、OMCI は Dell Command | Monitor にブランド変更されます。

トピック :

- [対応 Windows オペレーティングシステム](#)
- [Dell Command | Monitor のダウンロード](#)

対応 Windows オペレーティングシステム

- Windows 10 Redstone 1、Redstone 2、Redstone 3、Redstone 5、Redstone 6
- Windows 10、Windows 10 Pro、Windows 10 19H1、および Windows 10 IoT Enterprise LTSB 2016 (64 ビット) エディション
- **メモ:** Windows 10 IoT Enterprise LTSB 2016 は、Dell IoT Gateway システムと Dell Embedded PC でのみサポートされます。
- Windows 8.1、Windows 8.1 Professional、および Enterprise (32 ビットおよび 64 ビット) エディション
- Windows 7、Windows 7 Service Pack 1 (SP1)、Professional、Professional FES、Enterprise、Embedded Standard 7 Professional (WES7-P)、Embedded Standard 7 Enterprise (WES7-E)、および Ultimate (32 ビットおよび 64 ビット) エディション
- **メモ:** Windows 7 Professional FES は、Dell IoT Gateway システムと Dell Embedded PC でのみサポートされています。
- **メモ:** Embedded Standard 7 Professional (WES7-P) および Embedded Standard 7 Enterprise (WES7-E) は、Dell Embedded PC でのみサポートされています。

対応 Linux オペレーティングシステム

- Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 8.0 (64 ビット)
- Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 7.0 (64 ビット)
- Ubuntu Desktop 16.04 (64 ビット)
- Ubuntu Desktop 18.04 (64 ビット)
- Ubuntu Server 18.04 (64 ビット)

Dell Command | Monitor のダウンロード

1. dell.com/support にアクセスします。
2. サポート タブをクリックし、**製品サポート** オプションで **ドライバおよびダウンロード** をクリックします。
3. サービスタグ または エクスプレスサービスコード を入力し、**送信** をクリックします。
サービスタグがわからない場合は、[**製品の検出**] をクリックして画面の指示に従います。
お使いのシステムタイプに対する **製品サポート** ページが表示されます。
4. **ドライバおよびダウンロード** をクリックします。
5. システム管理 カテゴリを展開して、**Dell Command | Monitor** ファイルの **ダウンロード** オプションをクリックします。
6. **保存** をクリックしてダウンロードを完了します。

Dell Command | Monitor 10.3 のシステム要件

本セクションでは、Dell Command | Monitor のハードウェア要件について説明します。

ハードウェア要件

- SMBIOS 2.3 以降を搭載したサポート対象のエンタープライズ クライアント システム
- WMI-ACPI 対応 BIOS と互換性のある対応システム

Dell Command | Monitor 10.3 の前提条件

Dell Command | Monitor をインストールする前に、システムが次の要件を満たしていることを確認してください。

トピック：

- Windows を実行するシステムの前条件
- Linux を実行するシステムの前条件

Windows を実行するシステムの前条件

- システムに WMI-ACPI 対応の BIOS と互換性があること。Dell Command | Monitor をインストールするための WMI-ACPI 対応 BIOS がシステムに搭載されていない場合、互換性のあるバージョンに BIOS をアップデートします。詳細については、『Dell Command | Monitor リリース ノート』を参照してください。
- ターゲットシステムが、System Management Basic Input Output System (SMBIOS) バージョン 2.3 以降が搭載されたデル製システムであること。そうでない場合は、Dell Command | Monitor インストーラがあっても、インストールされずに終了します。

メモ: システムの SMBIOS バージョンを表示するには、次のいずれかの方法を選択します。

- スタート > **実行** を選択して、msinfo32.exe ファイルを実行します。システムの概要 ページで、SMBIOS のバージョンをチェックします。
- 次のコマンドを実行します。

```
Get-CimInstance Win32_BIOS | select SMBIOSMajorVersion  
Get-CimInstance Win32_BIOS | select SMBIOSMinorVersion
```

- サポートされている Windows オペレーティングシステムが実行されていること。サポートされている Windows オペレーティングシステムの詳細については、『[対応オペレーティングシステム](#)』を参照してください。
- .NET Framework 4.6.1 以降がインストールされていること。
- クライアントシステムの管理者権限を持っていること。つまり、Administrators グループのメンバーであるユーザー (通常は「管理者」) としてクライアントシステム上で認証されている必要があるということです。

Linux を実行するシステムの前条件

- システムが System Management Basic Input Output System (SMBIOS) バージョン 2.3 以降を持つ Dell 製システムである。

メモ: Ubuntu Desktop を実行しているシステムの SMBIOS バージョンを表示するには、次のコマンドを実行します。

```
dmidecode -t
```

- システムでサポートされている Linux オペレーティングシステムを実行していること。サポートされている Linux オペレーティングシステムについては、『[対応オペレーティングシステム](#)』を参照してください。
- Ubuntu Desktop 16.04 (64 ビット) または Red Hat Enterprise Linux 7.0 以降のオペレーティングシステムの場合は、OMI (Open Management Infrastructure) 1.1.0-4 がインストールされていること。Ubuntu Server/Desktop 18.04 の場合は、OMI (Open Management Infrastructure) 1.4.2-2 がインストールされていること。RHEL-8 の場合は、OMI 1.6.4-0 がインストールされていること。
- HAPI クライアント側の共有ライブラリー 9.3.0 がインストールされていること。
- libxml2 がインストールされていること。
- Ubuntu Core 16 を実行しているシステムの場合は、snap バージョン 2.23 以降がインストールされていること。
- ターゲットシステムの root 権限を所有していること。つまり、ターゲット システムで root ユーザー グループのメンバー ユーザーとして認証されなければなりません。

Dell Edge Gateway システムの前提条件

- アクティブな Dell EDM サブスクリプション。サブスクリプションの詳細については、cloudclientmanager.com にアクセスして、**トライアルおよびライセンス**に関する項目をクリックしてください。
 - Dell Command | Monitor によって提供されている機能を検出するには、EDM エージェントがインストールされている必要があります。
- メモ:** Dell Command | Monitor によって公開されるパラメータを EDM が管理できるようにするためには、最初に Dell Command | Monitor をインストールしてから EDM エージェントをインストールする必要があります。Dell Command | Monitor を EDM エージェントの後でインストールすると、EDM エージェントが次の定期的なチェックインを行うか、EDM を再起動するまで、これらのパラメータは EDM サーバポータルに表示されません。

Windows を実行しているシステムへの Dell Command | Monitor 10.3 のインストール

Dell Command | Monitor のインストールは、次のいずれかの方法で行います。

- グラフィカルユーザーインターフェイス (別名 Dell Command | Monitor インストールウィザード) を使用する
 - サイレントインストールのためにコマンドラインインターフェイスを使用する
- i** **メモ:** Dell Command | Monitor のインストールファイルは、dell.com/support から Dell Update Package (DUP) として入手できます。詳細については、「[Dell Command | Monitor のダウンロード](#)」を参照してください。
- i** **メモ:** Dell Command | Monitor のインストールファイルは、dell.com/support から Dell Update Package (DUP) として入手できます。
- i** **メモ:** Windows 32 ビットと 64 ビットオペレーティングシステムでは、インストールファイルが異なります。

GUI インストール Dell Command | Monitor は、DUP、または DUP から抽出した MSI ファイルを使用してインストールします。Dell Command | Monitor インストール ウィザードを使用すれば、デフォルト パッケージのインストールも、特定の環境で使用する場合に必要となる特定のコンポーネントのみのカスタム インストールも実行できます。

サイレントまたは CLI インストール Microsoft System Center Configuration Manager (SCCM) などのソフトウェア配布ツールを使用すると、エンドユーザーの操作なしで Dell Command | Monitor をインストールできます。

MSI ファイルや DUP を使用して、ネットワーク上のクライアントコンピュータに Dell Command | Monitor を導入するには、ログインスクリプトか Windows システムポリシーを使用します。

デフォルト インストール モードでは、Dell Command | Monitor により、Windows Management Instrumentation (WMI) プロバイダー、2つのサービス、1つのドライバーがインストールされます。WMI は、通信ポート (COM) をプロバイダーとのインターフェイスとして使用します。Dell Command | Monitor とともにインストールされるサービスが、システムにアクセスしてイベントとデータを取得します。BIOS などの低レベルのシステム リソースとセキュアな通信を行えるようになるドライバーも、Dell Command | Monitor と共にインストールされます。

- i** **メモ:** カスタムインストールモードでは、Simple Network Management Protocol (SNMP) オプションを選択すると、Dell Command | Monitor によって管理情報ベース (MIB) とエージェントがインストールされます。
- i** **メモ:** Dell Command | Monitor では、いかなるタイプのリモートアクセスもサポートされていません。Dell Command | Monitor へのリモート アクセスは、WMI または SNMP によってサポートされるリモート アクセス プロトコルを使用して行います。
- i** **メモ:** Dell Embedded Box PC 3000/5000 デバイスでは、Dell Command | Monitor を使用して GPIO ピンを設定できるように、入力ドライバーがインストールされます。

トピック:

- [Dell Update Package を使用した Dell Command | Monitor のインストール](#)
- [MSI ファイルを使用した Dell Command | Monitor のインストール](#)
- [Dell Command | Monitor での SNMP の有効化](#)
- [CLI またはサイレント モードでの Dell Command | Monitor のインストール](#)

Dell Update Package を使用した Dell Command | Monitor のインストール

DUP を使用してローカルで Dell Command | Monitor をインストールするには、次の手順を実行します。

1. dell.com/support からダウンロードした **Dell Command | Monitor Update Package** をダブルクリックします。ユーザー アカウント制御 (UAC) 画面が表示されます。
2. **Dell Command | Monitor Update Package** をダブルクリックします。

ユーザー アカウント制御 (UAC) 画面が表示されます。

- はい をクリックします。
アップデート パッケージの画面が表示されます。
- インストール をクリックします。
[Dell Command | Monitor の InstallShield ウィザードによるこそ] 画面が表示されます。
- 次へ をクリックします。
ライセンス契約 画面が表示されます。
- ソフトウェアライセンス契約を読んで、**ライセンス契約の条件に同意します** を選択してから、次へ をクリックします。
[向上プログラムに同意] 画面が表示されます。
- [向上プログラムに同意] を読み、プログラムに参加するかどうかの選択に基づき適切なオプションを選択して、[次へ] をクリックします。

 **メモ:** 向上プログラムに参加するオプションは、DCM 10.3 x64 ビット バージョンでのみ利用できます。

- セットアップタイプ 画面で次のインストールタイプのいずれかを選択します。
 - 標準** — デフォルトのディレクトリに標準ベースの Instrumentation をインストールします。このオプションは、デフォルトで選択されています。
 - カスタム** — Dell Command | Monitor の必要な機能を選択してインストールします。
- カスタム インストールを選択した場合は、カスタムセットアップ画面で、インストールする次の追加機能を選択することができますようになります。
 - 標準ベースの Instrumentation** - 標準ベースの Instrumentation により、利用可能な計測が root/DCIM/sysman で提供されます。この名前空間は、Distributed Management Task Force (DMTF) DASH 標準に準拠します。
 - SNMP を有効にする** — SNMP を有効にすると、クライアントシステムのためのシンプルネットワーク管理プロトコルがサポートされます。
 - インストールディレクトリを指定します。
- 次へ をクリックします。
プログラムのインストール準備完了 画面が表示されます。[セットアップタイプ] を [カスタム] にしている場合は [カスタム セットアップ] 画面が表示されるので、使用するプログラム機能と、Dell Command | Monitor をインストールするディレクトリを選択します。次へ をクリックします。
- インストール をクリックします。
インストールが開始されます。インストールが完了するまでにかかる時間は、選択したオプションとコンピューター ハードウェアによって異なります。
- InstallShield ウィザードを完了しました で、完了 をクリックします。
[Dell Command | Monitor] 画面が表示されます。
- 閉じる をクリックしてインストールを完了し、インストール画面を閉じます。

MSI ファイルを使用した Dell Command | Monitor のインストール


MSI を使用してローカルインストールを実行できます。Dell Command | Monitor DUP を dell.com/support からローカル ディレクトリにダウンロードして解凍し、MSI ファイルを抽出します。

サービス プロバイダーからインストール ファイルを入手して、MSI ファイルを抽出することもできます。

インストール ファイルには、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、簡体字中国語、日本語、中国語 (香港)、繁体字中国語、およびオランダ語のコンポーネントが含まれています。

 **メモ:** MSI ファイルを実行する前に、管理者権限を取得しておく必要があります。

- 管理者特権でコマンドラインインタフェースを開き、ファイルの場所に移動します。 **Command_Monitor_x86.msi** ファイルまたは **Command_Monitor_x64.msi** ファイルを実行します。
[Dell Command | Monitor の InstallShield ウィザードによるこそ] 画面が表示されます。
- 次へ をクリックします。
ライセンス契約 画面が表示されます。
- ソフトウェアライセンス契約を読んで、**ライセンス契約の条件に同意します** を選択してから、次へ をクリックします。
- [向上プログラムに同意] を読み、プログラムに参加するかどうかの選択に基づき適切なオプションを選択して、[次へ] をクリックします。

 **メモ:** 向上プログラムに参加するオプションは、DCM 10.3 x64 ビットバージョンでのみ利用できます。

5. **セットアップタイプ** 画面で次のインストールタイプのいずれかを選択します。
 - **標準** — デフォルトのディレクトリに標準ベースの Instrumentation をインストールします。このオプションは、デフォルトで選択されています。
 - **カスタム** — Dell Command | Monitor の必要な機能を選択してインストールします。
6. カスタムインストールを選択した場合は、カスタムセットアップ画面で、インストールする次の追加機能を選択することができますようになります。
 - **標準ベースの Instrumentation** - 標準ベースの Instrumentation により、利用可能な計測が root/DCIM/sysman で提供されます。この名前空間は、DMTF DASH 標準に準拠しています。
 - **SNMP を有効にする** — SNMP を有効にすると、クライアントシステムのためのシンプルネットワーク管理プロトコルがサポートされます。
 - インストールディレクトリを指定します。
7. **次へ** をクリックします。

プログラムのインストール準備完了画面が表示されます。[**セットアップタイプ**] を [**カスタム**] にしている場合は [**カスタム セットアップ**] 画面が表示されるので、使用するプログラム機能と、Dell Command | Monitor をインストールするディレクトリを選択します。**次へ** をクリックします。
8. **インストール** をクリックします。

インストールが開始されます。インストールが完了するまでにかかる時間は、選択したオプションとコンピューターハードウェアによって異なります。
9. **InstallShield ウィザードを完了しました** で、**完了** をクリックします。

[**Dell Command | Monitor**] 画面が表示されます。
10. **閉じる** をクリックしてインストールを完了し、インストール画面を閉じます。


Dell Command | Monitor での SNMP の有効化

1. **Dell Command | Monitor Update Package** (dell.com/support からダウンロードしたもの) をダブルクリックします。
2. **Dell Command | Monitor Update Package** をダブルクリックします。


[**Dell Command | Monitor の InstallShield ウィザードによるこそ**] 画面が表示されます。
3. **はい** をクリックします。

アップデート パッケージの画面が表示されます。
4. **インストール** をクリックします。

[**Dell Command | Monitor の InstallShield ウィザードによるこそ**] 画面が表示されます。
5. **次へ** をクリックします。
6. ソフトウェアライセンス契約を読んで、**ライセンス契約の条件に同意します** を選択してから、**次へ** をクリックします。
7. **セットアップタイプ** 画面で **カスタム** をクリックし、次に **SNMP を有効にする** をクリックします。

 **メモ:** 標準ベースのインストールメンテーションがデフォルトで選択されています。

8. **次へ** をクリックします。
9. **インストール** をクリックします。

 **メモ:** SNMP オプションを有効にして Dell Command | Monitor をインストールするには、次の CLI コマンドを使用します。

```
<DUPLICATE> /passthrough ADDLOCAL=Core,Hapi,EnableSNMP /qn
```

CLI またはサイレントモードでの Dell Command | Monitor のインストール

DUP または MSI ファイルを使用して、Dell Command | Monitor のサイレントインストールまたは CLI によるインストールを実行することができます。

表 1. インストール用のコマンド

操作	コマンド	例とコメント
DUP を使用したサイレントインストール	<p>デフォルト設定を使用してサイレント モードで Dell Command Monitor をインストールするには、/s オプションを指定して DUP ファイルを実行します。Dell Command Monitor がデフォルト ディレクトリに、デフォルトでサポートされているオペレーティング システムの言語でインストールされます。</p> <p>32 ビット システムでは、次のように入力します。Systems-Management_Application_XXXXX_WIN32_<version number>_<revision number>.EXE /s</p> <p>64 ビット システムでは、次のように入力します。Systems-Management_Application_XXXXX_WIN32_<version number>_<revision number>.EXE /s</p>	Dell Command Monitor 9.x のインストールまたはアンインストールは、管理者権限を持つユーザーのみが実行できます。
サイレントまたは無人インストール	<p>32 ビット システムでは、次のように入力します。msiexec /i Command_Monitor_x86.msi /qn</p> <p>64 ビット システムでは、次のように入力します。msiexec /i Command_Monitor_x64.msi /qn</p>	<p>32 ビット Windows では、<Command_Monitor_x86.msi>を使用します。</p> <p>64 ビット Windows では、<Command_Monitor_x64.msi>を使用します。</p>
標準名前空間でのサイレントまたは無人インストール	msiexec /i Command_Monitor_<x86 or x64>.msi ADDLOCAL=Core,Hapi /qn	<p>サポートされている ADDLOCAL パラメータ：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Core、Hapi ● Core、Hapi、EnableSNMP
対応言語での有人インストール	msiexec /i Command_Monitor_<x86 or x64>.msi TRANSFORMS=1036.mst	<p>インストール言語を指定するには、コマンドラインオプション TRANSFORMS= <language ID> .mst を使用します。このオプションの <language ID> は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 1028 – Chinese Taiwan ● 1031 – German ● 1033 – English ● 1034 – Spanish ● 1036 – French ● 1040 – Italian ● 1041 – Japanese ● 1043 – Dutch Netherlands ● 2052 Simplified Chinese ● 3076 – Chinese Hongkong <p>インストール言語が指定されていない場合、インストーラーはデフォルトのオペレーティング システム言語を選択し、デフォルトのオペレーティング システム言語がサポートされていない場合は、英語を選択します。</p>
カスタムディレクトリへのサイレントまたは無人インストール	msiexec /i Command_Monitor_<x64>.msi INSTALLDIR=<destination>/qn	<p>ここで、<destination> はカスタムディレクトリです。また、INSTALLDIR は大文字である必要があります。例：msiexec /i Command_Monitor_<x86 or x64>.msi</p>

表 1. インストール用のコマンド (続き)

操作	コマンド	例とコメント
		INSTALLDIR=c:\destination
向上プログラムに同意したうえでのサイレントまたは無人インストール	msiexec /i Command_Monitor_ <x64>.msi USERTELEMETRYCONSENT=1/qn	<p>向上プログラムに対するユーザーの同意を明記するには、USERTELEMETRYCONSENT サブコマンドを使用する必要があります。</p> <p>0 : いいえ、プログラムに参加しません。これがデフォルト値で、USERTELEMETRYCONSENT を渡さない場合です。</p> <p>1 : はい、プログラムに参加します。</p> <p>カスタマーエクスペリエンス向上プログラムの詳細については、https://downloads.dell.com/manuals/all-products/esuprt_software_int/esuprt_software_client_systems_mgmt/command-monitor-v102_reference-guide2_en-us.pdf を参照してください。</p>

Linux を実行しているシステムへの Dell Command | Monitor 10.3 のインストール

Linux を実行しているシステムへの Dell Command | Monitor のインストールは、次のいずれかの方法で行います。

- Ubuntu Desktop を実行するシステムについては、「[Deb パッケージを使用した Dell Command | Monitor のインストール](#)」を参照してください。
- Red Hat Enterprise Linux (RHEL) を実行しているシステムの場合は、「[RPM パッケージを使用した Dell Command | Monitor のインストール](#)」を参照してください。
- Ubuntu Core 15.04 を実行する Dell Edge Gateway 5000/3000 シリーズシステムについては、「[Snap パッケージを使用した Dell Command | Monitor 9.1/9.1.2 のインストール](#)」を参照してください。

トピック：

- [Deb パッケージを使用した Dell Command | Monitor のインストール](#)
- [RPM パッケージを使用した Dell Command | Monitor のインストール](#)
- [Snap パッケージを使用した、Ubuntu Core 16 を実行するシステムへの Dell Command | Monitor のインストール](#)

Deb パッケージを使用した Dell Command | Monitor のインストール

Ubuntu Desktop オペレーティングシステムを実行しているシステムには、dell.com/support からダウンロードした Deb パッケージで Dell Command | Monitor をインストールします。「[Dell Command | Monitor のダウンロード](#)」を参照してください。

1. Linux コマンドライン インターフェイスで、次のコマンドを実行して、**command-monitor_<version number>-<build number>.<architecture>.tar.gz** から中身を取り出します。

```
tar -zxvf command_monitor-linux-<Version>-<build number>_<architecture>.tar.gz
```

command_configure-linux-<version number>-<build number>.tar.gz には、次のパッケージが入っており、次の順序でインストールする必要があります。

- a. omi-1.1.0.ssl_100.x64.deb or omi-1.4.2-2.ssl_110.ulinux.x64.deb
 - b. srvadmin-hapi_9.3.0_amd64.deb
 - c. command-monitor_<version number>-<build number>.<architecture>.deb
2. Open Manage Infrastructure をインストールするには、次を実行します。

```
dpkg -i omi-<version number>.ssl_<OpenSSL version>.x64.deb
```

メモ: 依存関係の問題によりインストールに失敗する場合は、次のコマンドを実行して Ubuntu リポジトリからすべての依存パッケージをインストールします。

```
apt-get -f install
```

メモ: Ubuntu 18.04 のサーバーまたはデスクトップの場合は、omi-1.4.2-2.ssl_110.ulinux.x64.deb をインストールします。

3. HAPI を実行するには、次を実行します。

```
srvadmin-hapi_9.3.0_amd64.deb
```

- メモ:** 依存関係の問題によりインストールに失敗する場合は、次のコマンドを実行して Ubuntu リポジトリからすべての依存パッケージをインストールします。

```
apt-get -f install
```

4. ドライバモジュールがロードされていることを確認するには、次を実行します。

```
lsmod | grep dcdbas  
lsmod | grep dell_smbios
```

- メモ:** ドライバモジュールを使用できない場合は、

- a. 次のコマンドを実行して、ドライバーの詳細を表示します

```
modinfo dcdbas  
modinfo dell_smbios
```

- b. 次のコマンドを実行して、ドライバーモジュールをロードします

```
modprobe dcdbas  
modprobe dell_smbios
```

5. Dell Command | Monitor をインストールするには、次のコマンドを実行します。

```
dpkg -i command-monitor_<version number>-<build number>.<architecture>.deb
```

6. Dell Command | Monitor がシステムにインストールされたことを確認するには、次のコマンドを実行します。

```
dpkg -l | grep command-monitor
```

Dell Command | Monitor の詳細が表示されれば、インストールは成功です。

RPM パッケージを使用した Dell Command | Monitor のインストール

Dell Command | Monitor は、[dell.com/support](https://www.dell.com/support) からダウンロードした.rpm パッケージを使用して、RHEL オペレーティングシステムを実行しているシステムにインストールできます。「[Dell Command | Monitor のダウンロード](#)」を参照してください。

1. Linux コマンドライン インターフェイスで、次のコマンドを実行して、**command-monitor_<version number>-<build number>.<architecture>.tar.gz** から中身を取り出します。

```
tar -zxvf command_monitor-linux-<Version>-<build number>_<architecture>.tar.gz
```

command_monitor-linux-<version number>-<build number>.tar.gz には、次のパッケージが入っています。インストールは、root ユーザーで次の順序で行う必要があります。

- omi-1.1.0.ssl_100.x64.rpm or omi-1.6.4-0.ssl_110.ulinux.x64.rpm
- srvadmin-hapi-9.3.0-3295.14204.el7.x86_64.rpm
- command-monitor-<version number>-<build number>.<architecture>.rpm

2. OMI をインストールするには、次を実行します。

```
rpm -ivh omi-<version number>.ssl_<OpenSSL version>.x64.rpm
```

- メモ:** RHEL-8 の場合は、omi-1.6.4-0.ssl_110.ulinux.x64.rpm をインストールする必要があります。

3. HAPI を実行するには、次を実行します。

```
rpm -ivh srvadmin-hapi-9.3.0-3295.14204.el7.x86_64.rpm
```

4. Dell Command | Monitor をインストールするには、次のコマンドを実行します。

```
command_monitor-linux-<Version>-<build number>_<architecture>.rpm
```

5. Dell Command | Monitor がお使いのシステムにインストールされていることを確認するには、次を実行します。

```
rpm -qa | grep commad_monitor-linux
```

Dell Command | Monitor の詳細が表示されれば、インストールは成功です。

Snap パッケージを使用した、Ubuntu Core 16 を実行するシステムへの Dell Command | Monitor のインストール

Snap パッケージを使用して、Dell Canonical ストアから Ubuntu Core 16 を実行しているシステムに Dell Command | Monitor をインストールするには、次の手順を実行します。

1. Gateway システムにログインします。
デフォルトのユーザー名とパスワードは admin です。
2. 次のコマンドを実行します。
`snap install <your package name>.snap`

Windows を実行しているシステムの Dell Command | Monitor 10.3 のアップグレード

Windows を実行しているシステムでの Dell Command | Monitor のアップグレードは、次のいずれかの方法で行います。

- DUP を使用する場合は、「[DUP を使用した Dell Command | Monitor のアップグレード](#)」を参照してください。
 - MSI ファイルを使用する場合は、「[MSI ファイルを使用した Dell Command | Monitor のアップグレード](#)」を参照してください。
 - CLI を使用する場合は、「[CLI またはサイレントモードでの Dell Command | Monitor のアップグレード](#)」を参照してください。
- ①** **メモ:** Dell Command | Monitor のインストール、アップグレード、アンインストールを実行できるのは、管理者権限のあるユーザーだけです。

トピック :

- [DUP を使用した Dell Command | Monitor のアップグレード](#)
- [MSI ファイルを使用した Dell Command | Monitor のアップグレード](#)
- [CLI またはサイレントモードでの Dell Command | Monitor のアップグレード](#)

DUP を使用した Dell Command | Monitor のアップグレード

DUP を使用して Dell Command | Monitor をアップグレードするには、次の手順を実行します。

1. ダウンロードした Dell Command | Monitor DUP をダブルクリックします。
ユーザーアカウント制御 画面が表示されます。
2. はい をクリックします。
アップデート パッケージの画面が表示されます。
3. インストール をクリックします。
4. 画面の指示に従ってインストールを完了します。
① **メモ:** Dell Command | Monitor を最新バージョンにアップグレードすると、デフォルトで互換モードがインストールされます。
5. コンピュータを再起動してアップグレードを完了します。

MSI ファイルを使用した Dell Command | Monitor のアップグレード

MSI ファイルを使用して Dell Command | Monitor をアップグレードするには、次の手順を実行します。

- MSI ファイルをダブルクリックします。
- 画面の指示に従ってアプリケーションをアップグレードします。

CLI を使用して Dell Command | Monitor をアップグレードするには、次のコマンドを入力します。

- 32 ビットオペレーティングシステム :

```
msiexec /i Command_Monitor_x86.msi REINSTALL=All REINSTALLMODE=vomus
```

- 64 ビットオペレーティングシステム :

```
msiexec /i Command_Monitor_X64.msi REINSTALL=All REINSTALLMODE=vomus
```

CLI またはサイレントモードでの Dell Command | Monitor のアップグレード

CLI を使用して、システムを再起動せずに Dell Command | Monitor を旧バージョンからアップグレードすることができます。

表 2. アップグレードに使用されるコマンド

操作	コマンド
旧バージョンからのアップグレード (メジャーアップグレード)	<code>msiexec /i Command_Monitor_<x86 or x64>.msi REINSTALL=ALL REINSTALLMODE=vmous /qn</code>
再起動なしでのアップグレード	<code>msiexec /i Command_Monitor_<x86 or x64>.msi REINSTALL=ALL REINSTALLMODE=vmous REBOOT=REALLYSUPPRESS /qn</code>

Linux を実行しているシステムの Dell Command | Monitor 10.3 のアップグレード

Linux を実行しているシステムでの Dell Command | Monitor のアップグレードは、次のいずれかの方法で行います。

- Ubuntu Desktop オペレーティングシステムを実行しているシステムの場合は、「[Deb パッケージを使用した Dell Command | Monitor のアップグレード](#)」を参照してください。
- Red Hat Enterprise Linux (RHEL) を実行しているシステムの場合は、「[Red Hat Linux を実行している Dell Command | Monitor の RPM パッケージを使用したアップグレード](#)」を参照してください。
- Ubuntu Core オペレーティングシステムを実行している Dell Edge Gateway システムの場合は、「[Snap パッケージを使用した Dell Command | Monitor バージョン 9.1 または 9.1.2 のアップグレード](#)」を参照してください。

トピック：

- [Deb パッケージを使用した Dell Command | Monitor のアップグレード](#)
- [Redhat Linux を実行している Dell Command | Monitor の RPM パッケージを使用したアップグレード](#)
- [Snap パッケージを使用した Dell Command | Monitor のアップグレード](#)

Deb パッケージを使用した Dell Command | Monitor のアップグレード

Deb パッケージを使用して Ubuntu Desktop を実行しているシステムで Dell Command | Monitor をアップグレードするには、次の手順を実行します。

1. Dell Command | Monitor をアップグレードするには、次のコマンドを実行します。

```
dpkg -i command-monitor_<version number>-<build number>.<architecture>.deb
```

2. Dell Command | Monitor がシステムにインストールされたことを確認するには、次のコマンドを実行してバージョン番号を確認します。

```
dpkg -l | grep command-monitor
```

Redhat Linux を実行している Dell Command | Monitor の RPM パッケージを使用したアップグレード

Redhat Linux を実行している Dell Command | Monitor を RPM パッケージでアップグレードするには、次の手順を実行します。

1. Dell Command | Monitor をアップグレードするには、次のコマンドを実行します。

```
rpm -Uvh command-monitor-<version number>-<build number>.<architecture>.rpm
```

2. Dell Command | Monitor がシステムにインストールされたことを確認するには、次のコマンドを実行してバージョン番号を確認します。

```
rpm -qa | grep command-monitor
```

Snap パッケージを使用した Dell Command | Monitor のアップグレード

Canonical ストアから Dell Command | Monitor をアップグレードするには、次の手順を実行します。

1. Gateway システムにログインします。
デフォルトのユーザー名とパスワードは admin です。
2. 次のコマンドを実行します。

```
snappy update dcm
```

Windows を実行しているシステムからの Dell Command | Monitor 10.3 のアンインストール

Windows を実行しているシステムからの Dell Command | Monitor のアンインストールは、次のいずれかの方法で行います。


- コントロールパネルを使用した Dell Command | Monitor のアンインストール
- MSI ファイルを使用した Dell Command | Monitor のアンインストール
- CLI またはサイレントモードでの Dell Command | Monitor のアンインストール

トピック：

- コントロールパネルを使用した Dell Command | Monitor のアンインストール
- MSI ファイルを使用した Dell Command | Monitor のアンインストール
- CLI またはサイレントモードでの Dell Command | Monitor のアンインストール

コントロールパネルを使用した Dell Command | Monitor のアンインストール

1. スタート > コントロールパネル と移動します。
2. プログラムの追加と削除 を選択します。
プログラムの追加と削除 画面が表示されます。

 **メモ:** Windows 7、Windows 8、および Windows 8.1 の各オペレーティングシステムを実行しているシステムでは、「プログラムと機能」オプションを使用して **Dell Command | Monitor** をアンインストールします。

3. **Dell Command | Monitor** をダブルクリックしてアンインストールプロセスを開始します。
4. 画面の指示に従ってアンインストールを完了します。

MSI ファイルを使用した Dell Command | Monitor のアンインストール

1. **MSI** ファイルを右クリックして **管理者として実行** をクリックします。
 - 32 ビットのオペレーティングシステムでは、**Command_Monitor_x86.msi** を選択します。
 - 64 ビットのオペレーティングシステムでは、**Command_Monitor_X64.msi** を選択します。
2. **Dell Command | Monitor** の **InstallShield** ウィザードによる画面で、**次へ** をクリックします。
3. プログラムメンテナンス で **削除** を選択し、**次へ** をクリックします。
4. 確認画面では **はい** をクリックします。
5. **InstallShield** ウィザードを完了しました 画面で **完了** をクリックしてアンインストールを完了し、画面を閉じます。

CLI またはサイレントモードでの Dell Command | Monitor のアンインストール

MSI ファイルを使用しても使用しなくても、サイレントモードで Dell Command | Monitor をアンインストールできます。


 **メモ:** Dell Command | Monitor のインストールとアンインストールを行うことができるのは、管理者特権を付与されたユーザーのみです。

表 3. アンインストール用のコマンド

操作	コマンド
MSI を使用して Dell Command Monitor を削除する	<code>msiexec /x Command_Monitor_<x86 or x64>.msi /qn</code>
アップグレードコードを使用して Dell Command Monitor を削除する	64 ビットの Windows オペレーティングシステムの場合は、 <code>msiexec /x {91E79414-DB41-4030-9A13-E133EE30F1D5} /qn</code> と入力します。

Linux を実行しているシステムからの Dell Command | Monitor 10.3 のアンインストール

次の方法のいずれかを使用して、Linux を実行するシステムから Dell Command | Monitor をアンインストールできます。

- Ubuntu Desktop を実行するシステムについては、「[Deb パッケージを使用した Dell Command | Monitor のアンインストール](#)」を参照してください。
- Red Hat Enterprise Linux (RHEL) を実行しているシステムの場合は、「[RPM パッケージを使用した Dell Command | Monitor のアンインストール](#)」を参照してください。
- Ubuntu Core 15.04 を実行する Dell Edge Gateway 5000/3000 シリーズシステムについては、「[Snap パッケージを使用した Dell Command | Monitor 9.1/9.1.2 のアンインストール](#)」を参照してください。
- Ubuntu Core 16 を実行する Dell Edge Gateway 3000 シリーズシステムについては、「[Snap パッケージを使用した Dell Command | Monitor 10.0 のアンインストール](#)」を参照してください。

トピック：

- [Deb パッケージを使用した Dell Command | Monitor のアンインストール](#)
- [RPM パッケージを使用した Dell Command | Monitor のアンインストール](#)
- [Ubuntu Core 15.04 を実行する Dell Edge Gateway 5000/3000 シリーズシステムからの Snap パッケージを使用した Dell Command | Monitor バージョン 9.1/9.1.2 のアンインストール](#)
- [Ubuntu Core 16 を実行する Dell Edge Gateway 3000 シリーズシステムからの Snap パッケージを使用した Dell Command | Monitor のアンインストール](#)

Deb パッケージを使用した Dell Command | Monitor のアンインストール

Dell Command | Monitor および依存パッケージは、Deb パッケージを使用してアンインストールできます。

 **メモ:** 依存パッケージをアンインストールする前に、Dell Command | Monitor をアンインストールする必要があります。

1. Dell Command | Monitor をアンインストールして、設定ファイルと一時ファイルを削除するには、次のコマンドを実行します。

```
dpkg --purge command-monitor
```

2. Hapi をアンインストールして、設定ファイルと一時ファイルを削除するには、次を実行します。

```
dpkg --purge srvadmin-hapi
```

3. OMI をアンインストールして、設定ファイルと一時ファイルを削除するには、次を実行します。

```
dpkg --purge omi
```

4. Dell Command | Monitor がお使いのシステムからアンインストールされていることを確認するには、次を実行します。

```
dpkg -l | grep command-monitor
```

Dell Command | Monitor の詳細が表示されなければ、アンインストールは成功です。

RPM パッケージを使用した Dell Command | Monitor のアンインストール

.rpm パッケージを使用して、Dell Command | Monitor と依存パッケージをアンインストールできます。

① | メモ: 依存パッケージをアンインストールする前に、Dell Command | Monitor をアンインストールする必要があります。

1. Dell Command | Monitor をアンインストールして、設定ファイルと一時ファイルを削除するには、次のコマンドを実行します。

```
rpm -e command-monitor
```

2. Hapi をアンインストールして、設定ファイルと一時ファイルを削除するには、次のコマンドを実行します。

```
rpm -e srvadmin-hapi
```

3. OMI をアンインストールして、設定ファイルと一時ファイルを削除するには、次のコマンドを実行します。

```
rpm -e omi
```

4. Dell Command | Monitor がシステムからアンインストールされていることを確認するには、次のコマンドを実行します。

```
rpm -qa | grep command-monitor
```

Ubuntu Core 15.04 を実行する Dell Edge Gateway 5000/3000 シリーズシステムからの Snap パッケージを使用した Dell Command | Monitor バージョン 9.1/9.1.2 のアンインストール

Ubuntu Core 15.04 を実行する Dell Edge Gateway 5000/3000 シリーズシステムから Dell Command | Monitor をアンインストールするには、次のコマンドを実行します。

```
snappy remove dcm
```

① | メモ: お使いのシステムからすべてのログおよび一時ファイルを削除するには、次のコマンドを実行します。

```
snappy purge dcm
```

Ubuntu Core 16 を実行する Dell Edge Gateway 3000 シリーズシステムからの Snap パッケージを使用した Dell Command | Monitor のアンインストール

Ubuntu Core 16 を実行する Dell Edge Gateway 3000 シリーズシステムから Dell Command | Monitor をアンインストールするには、次のコマンドを実行します。

```
snap remove dcm
```